2020 年度のスタートに当たって

校　長　　岩　本　　守

【東部中ご神木　大桜】

令和元年度末人事異動により 17 名の教職員が転退職し、新たに 15 名の新しいメンバーが加わり、新生東部中学校がスタートしました。

東部中学校は地域の方々から愛され、支えられ、地域と歩む学校です。10 月 10 日には地域の方々と共に、1000 人程度の地域合同防災訓練も計画しています。将来、子供たちを地域の一員として地域の方々と共に歩める人に育てていきたいと考えています。

今年のスローガンは**教職員が一枚岩（チーム）になって　すべては子供たちのために全力を尽くしたいという願いの下「チーム東部　すべては子供達のために」です。**

保護者の方との信頼関係をより強固なものにし、**「生徒を育てるよきパートナー」**としてまた、**「教職員全員で一人一人の生徒を育てていくこと」**を大切に全力を尽くしていきたいと思います。

また、**人材の育成が急務です。**そのために若手教員とベテラン教員との間に溝をつくらず、お互いにいい刺激をもらい、**「学び合える教職員集団」**になりたい考えます。

以下の経営プランの下、教育実践をして参ります。赤字は昨年度と変更したものです。太字はより大切にしたいところです。

2020 年度　流山市立東部中学校学校経営プラン

基本方針

教職員全員が一枚岩になり、生徒一人一人をみんなで育てていくことを基盤に、保護者者や地域と共に歩む、創意と活力のある学校づくりに努める。

「チーム東部中　すべては子供達のために」

（１）安全・安心・**案じあえる**学校経営を推進する。
（２）**教職員お互いにカバーし合い、学び合い、高め合える職員集団になる。**
（２）**思いやりの心を持ち、人間関係をつくり、全力を尽くせる生徒を育てる。**
（３）**主体的・対話的で学び合いのある授業を展開し、家庭学習との連動により確かな学力を育む。**
（４）豊かな心と健やかな体を育む。
（５）**「開かれた学校」づくりに努め、**地域・保護者と共に歩む学校経営を推進する。

学校教育目標

『笑顔・熱中・思いやり　そして共に歩む東部中生』

笑顔　　：**安心・安全・認め合い・案じあえる仲間づくりを進める**
熱中　　：全力で取り組む　　感動する行事
思いやり　：相手を大切にし、**わかり合える仲間づくり**
共に歩む　：**学び合い、伸ばし合える仲間づくり　地域と共に生きる**

めざす姿

（１）学校像

「東部中がチームとなり、カバーし合い、全職員で一人一人の生徒を育てる
誠実な教育実践を重ねることのできる学校」

① **お互いに学び合い、成長できる同僚（人を育てる）**
② **生徒、保護者に寄り添い、大切にできる学校**
③ 全力で取り組み、お互いの良さを認め合い、充実感・達成感を味わわせることのできる学校
④ 安全・安心で清潔な学校
⑤ 地域に開かれた、地域・保護者と共に歩む学校

（２）生徒像

① 誰にでも元気に大きな声で挨拶ができ、家族や仲間を大切にできる生徒
② **素直な心を持ち、相手を理解し、**思いやりのある生徒
③ 健康で、**苦難に耐え、粘り強く取り組める生徒**
④ **コミュニケーション能力・人間関係調整力のある生徒**
⑤ **自分で考えて行動する生徒（自治的な集団づくり）**

（３）教師像

① 生徒の範として人として成長できる教師
② 生徒・保護者を大切にし、情熱と教育愛に満ちた教師
③ 謙虚で協調性があり、自分から学び吸収していく教師

本年度の重点

①チーム東部としてお互いにカバーし合い学び合える職員集団づくり
②学力向上…新学習指導要領全面実施に向けた授業改善と家庭学習の定着
③学級を母体として仲間づくりの推進(話し合い活動・人間関係調整力の育成)
④長期欠席者減少に向けた取り組み　　(長期欠席者２０％減)
⑤勤務時間の縮減　(体制作りと意識改革) 超過勤務週８０時間以内厳守

経営の重点

(１) 協働と同僚性の質の高い学校経営　(学校力を高める)

① すべての教職員が案じ合い、学び合い、学校経営に参画する。
② 新学習指導要領全面実施に向けた授業改革の推進。
③ 地域人材を活用し、特色ある教育活動を展開する。
④ 子育ての良きパートナーとして、保護者との信頼関係を深める。
⑤ 地域の拠点としての学校の責務を自覚し、社会に開かれた教育課程を推進する。

(２) 確かな学力の定着を図る学習指導

① 基礎的・基本的な内容の定着を図り、「分かる授業」が展開されるように努める。
(繰返し指導・補充的指導、朝の時間の工夫、指導方法の工夫(ＴＴ、少人数指導、個別指導、授業規律「姿勢・返事」)
② 学びの集団を育て、主体的・対話的で深い学びを生徒とともにつくる。
＜意見を重ね・つなぎ・学びあう授業つくり＞
＜学校と家庭をつなぐ家庭学習の習慣を身につける＞
③ 共生の心の育成を目的とする特色ある総合的な学習の時間を実施する。

(３) 豊かな心を育てる道徳教育

① 豊かな体験を通して、生徒の心の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
② 心の教育の充実に努める。(道徳と学級活動・学校行事とのセット化を図る)
③ 特別な教科道徳の授業作り研修及び評価の工夫に努める。

(４) 各教科、道徳、総合的な学習の時間と関連を持たせた特別活動

① 生徒の自治的、主体的な活動を重視した指導を行う。
② 防災教育や多様な体験活動を進め、命の大切さと共生の力を育てる。

(５) 職業観・勤労観をはぐくむキャリア教育・進路指導

① 進路指導をキャリア教育の観点で見直し、学年に応じた計画的・系統的な指導を行う。キャリアパスポートの活用を図る。

（６）インクルーシブ教育の推進

① 交流教育を充実させ、社会性自立を目標に共生の心を育てる
② 特別支援コーディネーターと連携を図り、適切な支援を行う。
③ 必要に応じて、「流山市個別支援サポートファイル」の効果的な活用を図り、継続と連携のあるきめ細やかな支援の推進。

（７） 社会的資質や行動力を高める生徒指導

① すべての教育活動を通して、生徒一人一人の人格を尊重するとともに、「命の大切さ」「思いやりの心」を指導する。
② 保護者・地域との信頼関係を深め、連絡や協力を密にして開かれた生徒指導を推進する。
③ 声掛けや教育相談や生徒情報交換会の充実を図り、**「声なき声を聴ける感性豊かな職員」を目指し、全職員で生徒に寄り添い生徒の健全育成に努める。**
④ 生徒が悩みや不安を気軽に話せる環境や「心の居場所」をつくることにより、生徒の自立支援に努める。

（８）体育・健康教育

① 体育的行事を計画的に実施し、**全力を尽くす姿と応援の喜び**を体験させる。
② 望ましい食習慣の形成と、食及び生活習慣に関する指導を推進する。

（９）安全教育

① 日常生活に潜む様々な危険を予想し、発達段階に即して安全な行動がとれる能力の育成、**とりわけ、対不審者から身を守るための指導を行う。**
② ハインリッヒの労働災害に関する経験則に学び、芽生えの段階で、学校全体の問題として取り上げ、迅速に対応する。

（10）人権尊重の精神と実践力を培う人権教育

① 全教育活動を通じて人権尊重の精神を養い、「差別しない、差別に負けない、差別を許さない」生徒を育成する。いじめの早期発見・組織的早期対応を行う。
② 生徒の悩みや願いを基に、認め合い、支え合う集団づくりを推進する。

（11）現代社会が求める国際理解教育

国際理解教育の指導が、「世界を見せるだけ」あるいは「ちがいを知らせる」だけでは、意味はない。そのねらいとして、

① 人権尊重、人間理解能力の育成
② 自国文化理解能力の育成
③ 異文化理解能力の育成
④ コミュニケーション能力の育成

（12）自然と共生し、ふるさと流山を愛する生徒を育てる環境教育

① 日々の生活の中で、電気、水、紙など資源を大切にできる行動力の育成をする。体験学習を通じて環境教育を推進する。

（13）情報社会に主体的に対応できる情報教育

① 情報リテラシーを育むと共に、適正な活動を行うための考え方や態度の育成を図る。

② 生徒をネット犯罪から守るために、ケータイやインターネットの利用について、生徒と共にルール作りを行う。

（14）伸び伸びとした学校生活が送れるような教育環境の整備・充実

① 潜在的な危険箇所の早期発見に努め、事故防止を図る。

② 緊急事態発生時に適切な対応が取れるように日頃から徹底を図る。

③ 保健衛生管理の徹底と薬物管理に万全を期する。

（15） 教職員の資質・能力の向上を図る研修体型、学びの集団の育成を図る。

① 研修活動の広がりや深まりが求められるような取組となるように努める。
（外部講師、研修会への積極的参加、指導力を高め合う研修の機会の充実）

② 互いの授業のノウハウを公開する、共同で教材研究を進める、授業相互参観など、「授業改革」を視点に、力量を高める研修を推進する。

（16）部活動指導の充実

① 部活動は、教師の情熱と熱意に支えられ、多くの生徒が部活動に熱心に参加している。この部活動の意義は、大変大きなものがある。**チーム作りと生徒指導、効果的な指導の研修により「この仲間や先生と一緒に、がんばってきてよかった」と思えるような経営を行う。**